

SPECIAL

THE ABSOLUTE ESSENCE

ABSOLUTE NAVETTA 68

2019年9月のカンヌショーでワールドプレミアムを迎えた「ABSOLUTE Navetta68(アブソルート・ナビッタ68)」。

ABSOLUTEらしいエレガントで美しいフォルムをもつヨーロッパファストローラーだ。
快適な居住空間と美しいインテリア、そして驚くべき低燃費を実現した艇体とパワートレイン。
すべてにおいて優れたデザイン性を見せる珠玉のイタリアンボートをカンヌ沖でシートライアル。

text: Atsushi Nomura photo: ABSOLUTE YACHTS
special thanks: ABSOLUTE YACHTS www.absolutesyachts.com
TECNOMARE INTERNATIONAL www.tecnomare-yachts.co.jp





Beauty, Power, Comfort... 21世紀のヨーロッパのボートシーンを席捲する ABSOLUTE 美しさと快適さを兼ね備えた魅惑のファストローラーと出会う

北イタリア、ミラノの南東60kmほどにあるポー川南岸の都市ピアチェンツァ、この街に2002年に創業した「ABSOLUTE YACHTS (アブソルート)」は、造船大国イタリアの中では比較的新しいボートビルダーである。創業者のふたり Marcello Bè (マルチェロ・ベー) と Sergio Maggi (セルジオ・マジ) は、イタリアのエクスペスクルーザーブランド「Gobbi (ゴッビ)」出身の技術者だ。Gobbi は1967年～2001年に存在したボートビルダーで、特に1980年代後半から1990年代にかけてイタリアでも人気が高かった。その後、2001年にAzimut/Benettiにより買収、ブランド自体が消滅してしまう。

Marcello と Sergio のふたりは Gobbi 消滅の翌年、Gobbi の“血”を受け継ぐべく ABSOLUTE を起ち上げた。実際、初期のモデルの多くは Gobbi のエクスペスクルーザーを彷彿させるモデルが多かった。2006年には Gobbi の創業者であった Angelo Gobbi (アンジェロ・ゴッビ) を社長として招聘。ABSOLUTE は設立から20年弱のビルダーだが、そのバックボーンには燦然とした Gobbi の歴史が息づいている。その後、サ

ロンクルーザーとファストローラーを中心としたラインナップを展開、ABSOLUTE は急成長を遂げる。現在、創業から20年も経っていないにも関わらず、ヨーロッパのボートシーンに大きく影響を与える存在となるに至った。

2019年に入っても ABSOLUTE の勢いはまったく衰えていない。1月にはデュッセルドルフにて「62Fly」を発表。そして9月の Cannes Yachting Festival では「47Fly」と「Navetta68」というふたつのモデルがワールドプレミアを迎えた。またこのショーでは先のデュッセルドルフで発表されていた「62Fly」もデビューを果たしている。カンヌではこの他、「72Fly」と「Navetta73」を含む全11艇が登場。おかげでカンヌでのショーブースは、並み居るヨーロッパの老舗ビルダーと肩を並べる華やかな規模となった。21世紀生まれのボートビルダーながら、一気に群雄割拠のヨーロッパのボート界を席捲した感がある。

2020年の ABSOLUTE は47フィート～73フィートのレンジにラインナップ。ファストローラータイプの「Navetta」には4モデル、サロク





ルーザータイプの「Flybridge」には7モデルがそれぞれラインナップする。

ABSOLUTEの特徴は、ISS (Integrated Structural System) 工法と呼ばれる合理的な建造方法を採用していることだ。通常、ボートの内部構造はハルを成形した後に組み込むが、ISS工法ではハルの成形と同時に内部構造の骨格を組み込んでいく。そのためハル自体の剛性が高まり、走行中の低振動、低騒音に繋がっている。またパワートレインには、先駆的にVOLVO PENTA IPSを採用した歴史があり、現行の全モデルにインストールされている。2010年以降、ヨーロッパを中心とした数々のボートオブザイヤーを受賞。ABSOLUTEは、“Reaching for the Absolute”をブランド哲学に、「品質、イノベーション、美しさ、安全、環境への配慮、効率、堅牢」という7つの要素で「絶対 (ABSOLUTE)」を目指している。

*

カンヌでデビューを果たした「ABSOLUTE Navetta 68 (ナベッタ68)」は、従来の「Navetta58」と「Navetta73」の間を埋めるサイズで、日本のマリナー事情を考えると少し大きめではあるが、ある意味でちょう

ど良いクラスのニューモデルがラインナップされた感がある。巨大なブリッジとまっすぐに立ち上がったフロントウィンドウ、大きなサロンウィンドウ、広々としたフォアデッキラウンジ、広大なフライブリッジ、そしてフライブリッジ後部に設けられた特徴的な前傾したサイドピラーなど、特徴的なフォルムを見せる外観は、従来のNavettaシリーズに近い。非常にエレガントで洗練された美しさを見せるエクステリアは、随所に機能的なスタイルと快適なアコモデーションが盛り込まれている。かつてのイタリアンボートによく冠された“デザインコンシャス”という言葉は、スタイル優先で機能性に乏しいと言う意味合いを多分に含んでいたが、本来、工業デザインのあるべき姿とは美しいスタイリングだけでなく機能性をも合わせ持つべきである。この「Navetta 68」はまさしくその両者を融合させており、“デザイン”のお手本とも言うべき仕上がりとなっている。

シートライアルは、カンヌの沖合いで行われた。「Navetta 68」のパワートレインはVOLVO PENTA DI13 IPS1200 - 900馬力を2基搭載。プレーニングするタイプのファストローラーである。フライブリッジにいても

驚くほど広大なフライブリッジエリア。バーカウンターにはバーベキューグリル、シンクなどが揃い、ダイネットも完備する。スカイラウンジと呼ぶに相応しい設備が整う空間だ。前方中央に設けられたアッパーステーションと両サイドのL字ソファは、まるでキャプテンを囲むかのようなレイアウト。こういったレイアウトは最近のヨーロッパのトレンド。オーナーキャプテンにとっても嬉しいレイアウトだ。





フォアデッキには、大型ソファとテーブルが備わるパウラウンジ、そして広大なサンベッドが並ぶ。高さのあるレールによって全周が囲まれており安全性も高い。4本ボールのサンシェードが全体を覆い、フォアデッキはとても快適なラウンジとなる。アフトコクピットにも大型ソファとテーブルが配置されている。メインサロンとの一体感も抜群。サイドデッキやFBへのアクセスステップも幅広く取られており走行中の移動も安心だ。



サロンにいても走行中のエンジン音はとても静かだ。上部構造物のポリウム感があるため、トップヘビーに見えるが、ジャイロを使用していないのにもかかわらず、ずっしりとした安定感がある。全体にデッキ面からブルワークトップまでの高さがしっかりと取られているため、走行中のデッキ上での移動も安心だ。

シートリアル時は2,200rpmで約23kt、燃料消費量は約330L/h。そのままの速度で旋回すると緩やかな傾きながら、サイズの割にクイックに曲がる印象だった。前述の安定感と68フィートというポリウムを考えれば、旋回性能はかなり高いと思う。巡航は2,000rpm、約19ktで、燃料消費量は約265L/hとぐっと下がる。波当たりも非常に柔らかく、デイクルーズなどであればちょうど良いスピードだ。ロングディスタンスの場合は1,200rpm、約12ktで、約145L/hとかなりの低燃費となる。「Navetta 68」の燃料タンクは3,500L。理論上は19kt巡航で13時間強、250マイル、より低燃費な12kt巡航であれば、24時間強、290マイルの連続航行が可能となっている。同クラスのロングレンジトローラーと比べても12ktでの燃費が145L/hというのは驚きの数値だろう。効率良く造られたファストトローラーならではの低燃費と言えるだろう。またエンジンルームはかなり広々とした造りになっており、インスペクション、メ

ンテナンスなどの作業もしやすくなっている。

*

エクステリアは、フォアデッキに大型のサンベッド、ブリッジのすぐ前にパウラウンジが並ぶ。4本のポールを使ってフォアデッキ全体をサンシェードで覆えるため、非常に快適な空間となっている。かなり幅広いサイドデッキは、ほぼ全面にわたって庇が設けられている。このあたりもトローラーらしい装備だ。

アフトコクピットはフライブリッジがそのまま屋根となっており、大型ソファとテーブルをセット。両舷にはサイドドアが設けられ、右舷側にはジョイスティックを収納、離着岸時の操作はここで行える。デッキハッチからエンジンルームにもアクセス可能だ。後方の両舷にステップがあり、大型スィミングプラットフォームへと降りられる。スィミングプラットフォームはハイドロで上下動するため、テンドー収納スペースとしても、スィミングスペースとしても使い勝手が良い。スィミングプラットフォーム前に設けられたハッチはクルーロビーへの入口。クルーロビーには2ベッドルーム、洗濯機、シャワー付きヘッドなどが備わる。

アフトコクピットの左舷側にフライブリッジへのアクセスステップ、メインサロンとの間は6枚のスライドドアが仕切る。このスライドドアをフ



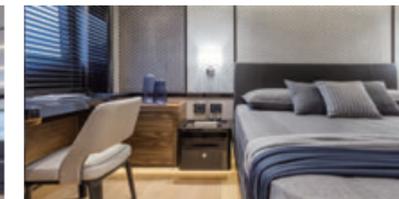
メインサロン後部の6枚のスライドドアを全開にすると、サロンとアフトコックピットは一体となる。ギャレーはサロン後部に配置され、アフトコックピットとメインサロンの両方にサーブ可能。カウンターもとても使いやすく、対面にはダイネットと呼ぶには立派すぎるダイニングテーブル。サロンのサイドウィンドウはご覧の広さで、ここから眺める景色は素晴らしい絵になりそうだ。ロアデッキ前方にはマスターキャビン。大型ベッドとデスク、ウォークインクローゼット、個室シャワーがついたマスターヘッドが用意され、ハルに埋め込まれた大きなサイドウィンドウも非常に魅力的だ。その他、2つのゲストキャビンとVIPキャビン、さらに2つのクルー用キャビンがある。

ルで開放するとアフトコックピットとメインサロンはほぼ一体化する。左舷側のカウンターは、そのままアッパーギャレーと繋がっており、とても使いやすいレイアウトとなっている。

30フィート以上の長さを誇るフライブリッジは、オープンラウンジとも称すべき充実した装備が備わる。最後部にはサンベッド、ハードトップ下のフライブリッジ中央部には左舷にバーカウンター、右舷がダイネットスペースとなる。バーカウンターにはシンクやバーベキューグリル、冷蔵庫などが揃い、オープンギャレーとして使用できる。最前部はアッパーヘルムステーション。キャプテンシートが中央に設けられ、ヘルムスには2つの

大型モニター。細かな計器類は少なく、エンジンスタータスなどは基本的に右のタッチパネルモニターに表示される。両舷にキャプテンシートを囲うようにL字型ソファが並んでいる。このクラスであれば、ペイドキャプテンよりも、オーナー自ら操船するケースも多いと思われるが、操船中のオーナーもゲストとの一体感を味わえるだろう。

メインサロンは後部がダイニングスペースで左舷にアッパーギャレー、右舷にダイネットが並ぶ。サロン空間は両舷の広大なサイドウィンドウのおかげで非常に明るい雰囲気。落ち着いた色味のインテリアと明るい雰囲気はラグジュアリーホテルのリビングのようだ。メインサロン





の前より右舷にはサイドドアがあり、ステップを上がるとロアヘルムの設けられたパイロットハウスへ至る。パイロットハウスにはドライバーシートとパッセンジャーシートが並ぶ。ヘルムステーションは全面、ウィンドウの枠組みも全てブラックに。これはスーパーヨットなどでは一般的に見られる意匠だが、視界を確保し、陽光による乱反射を防ぐ機能的なレイアウトである。

メインサロンからロアデッキへのコンパニオンウェイを降りる。最後部のクルーロービーの2部屋も含めると全部で6つのキャビンが備わっている。前寄りにマスターキャビンと広々としたマスターヘッド。キャビン

の中央に大型ダブルベッド、右舷にカウンター、左舷にデスクが並び、ウォークインクローゼットまで備わる。ハルにビルトインされた大型サイドウィンドウのおかげで、キャビン内はとても明るい。マスターヘッドには個室シャワールームも備わる。

ロアデッキ中央の両舷に廊下を挟んでツインベッドルーム仕様のゲストキャビンがふたつ、さらにゲストヘッドが設けられている。ちなみにゲストキャビンのツインベッドは電動でダブルベッド化が可能。ゲストの人数などに合わせてアレンジできる。さらに後部にVIPキャビンが配置されている。VIPキャビンにも大型ダブルベッドと専用ヘッドが備わる。今回のテス



サロン前方、一段高い場所に設けられたヘルムステーション。ロアステーションは全体にブラックのカラーリング。スーパーヨットなどで一般的な意匠だが、視認性や陽光の乱反射を避けるメリットがある。パワートレインは900馬力のIPS1200が標準、1,000馬力のIPS1350のオプションもある。エンジンルームはヘッドクリアランスも充分でとても広々している。

ト艇のインテリアに採用されたファブリックやマテリアルは、何となく「和」テイストを思わせる落ち着いた雰囲気、とても好印象だった。

*

まるでスーパーヨットのようなアコモデーションを備える「Navetta 68」。68フィートの躯体にそれ以上の規模を思わせる革新的なレイアウトには驚かされる。そしてそれは単なる錯覚ではなく実際に広い。非常に緻密に設計されたABSOLUTEならではのアコモデーションは新鮮な

驚きを与えてくれた。

メインサロンやマスターキャビンの広大なウィンドウ、ここから眺める海や山々の景色は、きっと素敵な借景——ピクチャーウィンドウとなるだろう。是非とも瀬戸内辺りの海に浮かべてみたい。美しさと豪華な快適さを併せ持ったヨーロッパファストトローラー「ABSOLUTE Navetta 68」は、素晴らしい創意工夫が随所に見られるABSOLUTEの結晶とも言うべき存在だ。P.B.



ABSOLUTE Navetta 68

全長 20.52 m
 全幅 5.62 m
 喫水 1.72 m
 重量 53 gross tons
 エンジン 2x VOLVO PENTA D13 IPS1200
 最高出力 2x 900 HP
 燃料タンク 3,500 L
 清水タンク 910 L
 問い合わせ先 テクノマーレインターナショナル TEL: 048-878-6806
 www.tecnomare-yachts.co.jp



YouTube